

平成28年6月

目次

第1章 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1
第2章 Java ポリシーを設定する前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 2
第3章 Javaのバージョンについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 5 8
第4章 Javaのインストール(ケース①②の場合)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11 11 11 13
第5章 Java ポリシーの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15 15 17 21
 第6章 Java の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29 29 29 33 40
補足2 Internet Explorer の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44

第1章 はじめに

本マニュアルは、ICカードを利用しないID・パスワード方式のみで電子入札システムを使用 する方が対象となります。

電子入札システムを使用するためには、ご利用になるパソコンに Java ランタイム(JRE) (以下、Java)をインストールし、Java ポリシーと呼ばれる設定を行う必要があります。

電子入札システムを使用するまでの流れ 1. 1





第5章 Java ポリシーの設定

Java のインストールが完了した後に、Java ポリシーの設定を行います。



第6章 Java の設定

電子入札システムを使用するために Java の設定を行います。 Internet Explorer の設定をしていない場合は「補足2Internet Explorer の設定」も行います。

第2章 Java ポリシーを設定する前に

2.1 前提条件の確認

少額物品システムは、インターネットが利用可能で、『表2.1 動作環境』に示した要件を満たす環境 でご利用できます。

表2.1 動作推奨環境

項目	要件		
CPU	OSの種類により要件が異なります。		
	①Windows Vista/Windows7 の場合		
	Core 2 Duo 1.0GHz 同等以上推奨		
	2Windows 8.1		
	Intel Core i5 3.1GHz 同等以上推奨		
メモリ	OSの種類により要件が異なります。		
	①Windows Vista/Windows7 の場合		
	1.0GB 以上推奨		
	@Windows8.1		
	2.0GB 以上推奨		
ディスク	1 ドライブの空きが1 GB 以上		
OS	以下の何れかの OS であること。		
	①Windows Vista Business SP2 (32bit 版)		
	②Windows 7 Home Premium/ Professional SP1(32bit 版/64bit 版)		
	③Windows8.1 エディションなし、Pro (32bit 版/64bit 版)		
ブラウザ	OSの種類により対応しているブラウザのバージョンが異なります。		
	①Windows Vista の場合		
Internet Explorer 9			
	@Windows 7/ Windows8.1		
	Internet Explorer 11		
	※Internet Explorer は 32 bit 版をご利用ください。		
	※Windows 8.1 はテスクトッフ版の Internet Explorer のみサホート対象となります。 ※Internet Explorer 以外のブラウザ(Chrome、Firefox 等)には対応しておりません。		

ブラウザのバージョンは次の手順で確認できます。

- Windows Vista/Windows7の場合
 - (1) Internet Explorer を立ち上げ、[ヘルプ]メニューー[バージョン情報]を選択します。

9		
	OO - @ about:blank	- 4y X Live Search P -
8 1-1	ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T)	ヘルブ(H)
EQ.	🚖 🎄 🏉 空白のページ	目次とキーワード(C) ■ □
005		Internet Explorer ツアー(T) オンラインサポート(S) フィード/fwpの送信(K)
		ノ(ージョン情報(A)
1		

図2.1-1 Internet Explorer のバージョン確認

(2)「Internet Explorer バージョン情報」のバージョン情報を確認します。



図2.1-2 Internet Explorer のバージョン情報確認画面

- ・Windows 8.1 の場合
 - (1) デスクトップのタスクバーより Internet Explorer を立ち上げます。



図2.1-3 デスクトップ画面

<u>※スタート画面およびアプリ画面の「Internet Explorer」はご利用になれません。</u> 必ずデスクトップ画面より、ご利用ください。





電子入札サービス Java ポリシー設定マニュアル (少額物品、少額役務システム用)

(2) [ヘルプ]メニューー[バージョン情報]を選択します。



図2.1-4 Internet Explorer のバージョン確認

(3)「Internet Explorer バージョン情報」のバージョン情報を確認します。



3章 Java のバージョンについて

3.1 Java バージョンの確認方法

ご使用になるパソコンに、Java がインストールされているか確認します。 インストールされている場合は、インストールされている Java のバージョンを確認してください。

WindowsVista、Windows7/8.1 (32bit)をご利用の場合

- JRE7 UPDATE15
- JRE7 UPDATE45
- JRE8 UPDATE25

Windows7/8.1 (64bit)をご利用の場合

• JRE8 UPDATE25

ご使用になるパソコンのJavaのバージョンは、次の手順で確認できます。

(1) スタートメニューより「コントロールパネル」を開きます。



図3.1-1 コントロールパネルの表示

(2)「コントローパネル」の表示方法をWindowsVistaの場合は「クラシック表示」、 Windows7/8.1の場合は「大きいアイコン」または「小さいアイコン」に変更します。

Java のアイコンが表示されない場合 ⇒Java がインストールされておりません

Java のアイコンが表示される場合

⇒Java かインストールされておりません 第4章を参照の上、Java のインストールを行います ⇒Java のアイコンをクリックします。 下記手順にてバージョンを確認してください

1828 ()) 🖉 🛛 🛛 コントロール パネル 🕨 ▼ 49 検索 Q カテゴリ 名前 コントロール パネル ホーム クラシック表示 Se la constante ((ဝု) Symantec Tablet PC 設 Java 「Java」のアイコンが表 LiveUpdate 定 示されているか確認し てください。 表示されている場合は ndows Windows Windows Windows dSpace Defender SideShow Update アイコンをクリックしま す。 Windows サ Windows フ インターネッ インデックス ウェルカム イドバーの... ァイアウォ... ト オプシ... のオプション センター

図3.1-2 Java のバージョン情報確認画面④

(3) 『図 3.1-3 Java コントロールパネル』で「バージョン情報」をクリックしてください。

4	Java コントロールパネル
2	基本 アップデート Java セキュリティ 詳細
Г	製品情報
	Java コントロールパネルについてのバージョン情報を表示します。
	「バージョン情報」
	パーション情報版(日)

図3.1-3 Java コントロールパネル

(4) 『図 3.1-4 Java について』で Java のバージョンを確認することができます。



図3.1-4 Java について

※注 画面イメージは、OS等により若干表示が異なる場合があります。 下のケースごとに次の章へ進んでください





(1) スタートメニューより「コントロールパネル」を開きます。



図3.2-1 コントロールパネルの表示

- (2) 『図 3.2-2-1 「コントロールパネル」画面①』または『図 3.2-2-2 「コントロールパネル」画面②』で、「プログラムと機能」メニューをダブルクリックすると、
 『図 3.2-3 プログラムと機能①』が表示されます。
 - ●[表示]メニュー--[詳細]表示の場合

・トロール ノ	(ネル)	
. + ,	名前	カテゴ
レハーム	📔 フォルダ オプション	デスク
	フォント	デスク
		ハード
	📷 プログラムと機能	プログラ
	レペンと人力デバイス	ハード
	マウス	ハード
	◎ メール	ユーザ・
	🎎 ユーザー アカウント	ユーザ・
	🔁 音声合成	ハード
	母 音声認識オプション	コンピ:
	🚵 管理ツール	システム
図3	3.2-2-1 「コントロールパ	ネル」画面①

●[表示]メニューー[中アイコン]表示の場合





(3) 『図 3.2-3 プログラムと機能①』をスクロールし、アンインストールする不要な Java バージョンのプログラムを選択します。アンインストールする場合は、「アンインストール」 を押下します。



図3.2-4 プログラムと機能②

(4) 『図 3.2-5 プログラムと機能③』画面で、「はい」ボタンを押すと、 プログラムのアンインストールが始まります。

プログラムと機能
Java(TM) 6 Update 3 をアンインストールしますか?
今後、このダイアログボックスを表示しない はい(Y) いいえ(N)

図3.2-5 プログラムと機能③

- (5) 画面が閉じると、プログラムのアンインストールは終了です。
- (6) 複数の不要な Java バージョンが存在する場合には、同様の手順でプログラムのアンインストールを繰り返して下さい。終わりましたら「プログラムと機能」画面、右上の「×」ボタンで画面を閉じて下さい。
- (7) 不要な Java バージョンのアンインストールが終了しましたら、パソコンを再起動して、 第4章へお進みください。

第4章 Java 実行環境の設定(ケース①②の場合)

4. 1 Java のインストール

ご使用になるパソコンに Java がインストールされていない場合には、Java をインストールする 必要があります。

※下記の操作は「管理者」権限のあるユーザにて行ってください

JRE7のインストールは「4.1.1 JRE7の場合」、 JRE8のインストールは「4.1.2 JRE8の場合」を参照してください。

- 4.1.1 JRE7の場合
 - (1) 電子入札システムポータルサイトより JRE をダウンロードしてデスクトップ等に保存して ください。保存した JRE のインストールファイルをダブルクリックしてください。
 - (2)以下の画面が表示されます。使用許諾契約書をご確認のうえ、「インストール」をクリックしてください。

Javaセットアップ - ようこそ	×
Java"	ORACLE
Javaへようこそ	
Javaを使用すると、驚くべきJavaコンテンツの世界に安全かつセキュアにアクセスでき ーションをはじめ、役立つユーティリティやエンターティンメントに至るまでの分野で、Ja 験を生き生きしたものにします。	ます。ビジネス・ソリュ vaはインターネット体
注意: インストール・プロセスで個人情報が収集されることはありません。 ここをクリック すると、収集される情報について確認できます。	
「インストール」をクリックすると、ライセンス契約に同意して Javaが今すぐイン	/ストールされます。
コピー先フォルダを変更する 取消	(1)21-1/0)

図4.1.1-1 Java インストール画面①

(3)以下の画面が表示されます。この画面の表示中は、パソコンの操作は行わないようにしてく ださい。

Javaセットアップ - 進行中	
	ORACLE
30 億のデバイスで走る Java	
Computers, Printers, Routers, BlackBerry Smartphones, Cell Phones, VolP Phones, Vehicle Diagnostic Systems, MRIs, ATMs, Credit Cards, Kindle E-Readers, TVs, Cable Boxes	
ORACLE	
図4.1.1-2 Java インストール画面②	

(4) 以下の画面が表示されます。『閉じる』ボタンをクリックし、Java 実行環境の導入は 完了です。

Javaセットアップ - 完了	×
Java ⁻	ORACLE
✓ Javaが正常にインストールされました	
Javaの更新が可能になると、ダウンロードしてインストールするように指示されます。これは て、システムで最新のパフォーマンスとセキュリティの向上が確保されるようにすることをおり	:常に実行し 薦めします。
この動作を変更する場合は、ガイドを参照してください。	
	(10)250開

図4.1.1-3 Java インストール画面③

※注 各画面は、OS 等により若干表示が異なる場合があります。

- 4. 1. 2 JRE8の場合
 - (1) 電子入札システムポータルサイトより JRE をダウンロードしてデスクトップ等に保存して ください。保存した JRE のインストールファイルをダブルクリックしてください。
 - (2)以下の画面が表示されます。使用許諾契約書をご確認のうえ、「インストール」をクリックしてください。

Javaセットアップ - ようこそ	X
👙 Java	ORACLE
Java∧d	さこそ
Javaを使用すると、驚くべきJavaコンテンツの世界に安 ーションから有用なユーティリティやエンターティンメントま 験を豊かに	R全かつセキュアにアクセスできます。ビジネス・ソリュ Eで、様々な分野でJavaはあなたのインターネット体 Lします。
注意: インストール・プロセスで個人情報が収集さ <u>ここをクリック</u> すると、収集される1	られることはありません。 青報について確認できます。
<u>ライセンス契約</u> に同意してJavaのインストールを今す	∜開始するには、「インストール」をクリックします。
□ 宛先フォルダを変更する	取消 インストール(1)>
図4.1.2-1 Java イン	ンストール画面①

(3) 以下の画面が表示されます。この画面の表示中は、パソコンの操作は行わないようにしてく ださい。



図4.1.2-2 Java インストール画面②

(4) 以下の画面が表示されます。『閉じる』ボタンをクリックし、Java 実行環境の導入は 完了です。

Javaセットアップ - 完了
✓ Javaが正常にインストールされました
Javaの更新が可能になると、プロンプトが表示されます。必ず更新をインストールして、パフォーマンスお よびセキュリティの最新の改善を反映させてください。 更新設定の詳細
「閉じる」をクリックするとブラウザが開くので、Javaが動作していることを確認できます。
閉じる(C)
図4.1.2-3 Java インストール画面③

※注 各画面は、OS 等により若干表示が異なる場合があります。

Java のインストール後に以下の画面が表示された場合は、「×」ボタンで閉じてください。



図4.1.2-4 Java のバージョンの確画面

第5章 Java ポリシーの設定 5.1 Java ポリシー設定ツールのダウンロードと解凍

Java のインストールが終了致しましたら、電子入札システムポータルサイトより Java ポリシー設定 ツールをダウンロードします。Java ポリシー設定ツールは、OS のバージョンによって異なります。 適切なものをダウンロードしてください。

- ・Windows Vista/Windows 7(32bit 版)/Windows 8.1(32bit 版)の場合は、「Windows(32bit)JavaPolicy 設定ツール」
- ・Windows 7(64bit版)/Windows 8.1(64bit版)の場合は、 「Windows7_Windows8.1(64bit)JavaPolicy 設定ツール」
 - (1)電子入札システムポータルサイトから Java ポリシー設定ツールをダウンロードすると「図 5.1-1 Java 実行画面①」が立ち上がります。「実行」ボタンを押下してください。



(2) 信頼済みサイトに電子入札システムのホームページを登録していない場合、以下の「図 5. 1-2Java 実行画面②」が表示されるので、「実行する」ボタンを押下します。



図5.1-2 Java 実行画面②

(3)「図5.1-3ファイルの展開先(保存場所)指定画面」が表示されます。参照ボタンを押下すると、「図5.1-4フォルダ指定画面」が表示されるので、保存先を指定し「OKボタン」を押下します。「図5.1-3ファイルの展開先(保存場所)指定画面」の「展開」ボタンを押下します。

Lhaplus Self Extractor			X
展開先のフォルダ(<u>D</u>):			\frown
C:¥			照(<u>B</u>)
展開されるファイル(<u>F</u>):			
Windows (32bit) JavaPolio Windows (32bit) JavaPolio Windows (32bit) JavaPolio Windows (32bit) JavaPolio Windows (32bit) JavaPolio Windows (32bit) JavaPolio	v設定ツール¥common, v設定ツール¥EbICCari v設定ツール¥EbPolicy v設定ツール¥lib¥EbPo v設定ツール¥permissi v設定ツール¥スタート	permission dEncryptionUtilspern Fileproperties IlicyTool.jar onpermission bat	nission
		展開(<u>E</u>) 総	87(X)

図5.1-3 ファイルの展開先(保存場所)指定画面



(4) 上記で選択した保存先に、解凍したファイルが作成されます。 Java ポリシー設定ツールはダウンロードしたツールと同じ名称のフォルダが作成されます。



図5.1-5 JavaPolicy 設定ツール フォルダ

- 5. 2 Java ポリシーの設定
 - (1) ツールの起動

5.1で解凍したフォルダの中の「スタート .bat」を右クリックし、「管理者として実行」を クリックすると「図5.2-2 ユーザーアカウント制御」が表示されます。

ユーザーアカウント制御画面にて「はい」をクリックすると「図5.2-3 スタート.bat 実 行画面」が表示されます。



図5.2-1 JavaPolicy 設定ツールフォルダ画面

0	ユーザー アカウント制御 ×
🌍 次のว	プログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?
0% <u>-</u>	プログラム名: Windows コマンド プロセッサ 確認済みの発行元: Microsoft Windows
 詳細を表示 	示する(<u>D</u>) はい(<u>Y</u>) いいえ(<u>N</u>)
	<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>

図5.2-2 ユーザーアカウント制御画面



図5.2-3 スタート.bat 実行画面 ※ご利用の OS によって、画面が異なる場合があります。

(2) 画面説明

🏂 java.policyファイル設定ツールVer1.0	
発注機関名称 ①	登録済み発注機関
発注機関URL ② https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CAL	6
3 登録 ④ 終了	
⑤ ポリシィファイルの参照	1 時

図5.2-4 java.policy ファイル設定ツール画面①

<項目内容>

- ①発注機関名称
 - 設定を追加する発注機関の名称を入力します。
- ②<u>発注機関 URL</u>

追加する発注機関から提示されている URL を入力します。

- ③<u>登録ボタン</u>
 - 入力した名称とURLを用いて、java.policyファイルに設定を追加します。
- ④<u>終了ボタン</u>

このツールを終了します。

⑤<u>ポリシーファイルの参照ボタン</u>

java.policy ファイルの内容を表示します。

⑥<u>登録済み発注機関リスト</u>

登録済みの発注機関名称の一覧を表示します。

⑦<u>削除ボタン</u>

登録済み発注機関リストで選択した発注機関に関する設定を削除します。

※java.policyファイル設定ツールを実行する場合は、管理者権限のユーザにて実行して下さい。

※Java のバージョン更新(アップデート)を行った場合は、再度 java.policy ファイル設定ツール を実行する必要があります。

(3)登録処理

少額物品システムに対する設定を行います。

🍐 java.policyファイル設定ツールVer1.0	
発注機関名称 ① 〇〇〇〇市 発注機関URL ② https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CAL	登録済み発注機関 5
③ 登録 終了	
ポリシィファイルの参照	肖川 除

図5.2-5 java.policyファイル設定との地面面②

<操作手順>

①発注機関名を入力します。(例:000市)

- ②発注機関 URL に「https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CALS/」 が表示されていることを 確認します。
- ③登録ボタンを押します。
- ④確認画面です。

登録を実行してもよければ「はい」ボタンを押します。



図5.2-6 登録確認画面

⑤登録済み発注機関に①で入力した内容(例:0000市)が表示されたら登録完了です。

なお、本ツールにより、java.policyファイルを変更するたびに自動的にバックアップファイルが 作成されます。



図5.2-7 登録完了画面





※Java ポリシーの設定が完了したら、ユーザーアカウント制御機能を元の状態に戻し、パソコンを 再起動してください。

補足1 ユーザーアカウント制御機能の無効化



- 1. Windows Vista の場合
 - (1)「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を開きます。



図 補足.1-1 コントロールパネル呼び出し画面

(2) コントロールパネルの画面左側で「クラシック表示」をクリックし、「ユーザーアカウント」 を開きます。

		(ネル・	
	ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	ツール(I) へ	ルプ(日)
	コントロール パタル ホール	名前	カテゴリ
	 ・ クラシック表示 	ネットワーク / と共有セン	<u>ヽードウ:</u> の追加
クラシック表示	5	2- 1 -7	音命:
	Ille I	カウント	ユーザーアカウント

図 補足.1-2 コントロールパネル画面

(3)「ユーザーアカウントの制御の有効化または無効化」を開きます。



図 補足.1-3 ユーザーアカウント画面

(4)「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されるので、「続行」ボタンをクリックします。 「ユーザーアカウント制御(UAC)を使ってコンピュータの保護に役立たせる」のチェックを 外し、「OK」ボタンをクリックします。



図 補足.1-4 ユーザーアカウントの制御の有効化または無効化画面

(5)「OK」ボタンをクリックすると、

「これらの変更を適用するにはコンピュータを再起動する必要があります」と表示されるので、 「今すぐ再起動する」を選択して、パソコンを再起動してください。 (1)「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を開きます。

🦉 プロジェクターへの接続	 コンピューター	コントロールパネル
一 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	コントロール パネル	
付箋	デバイスとプリンター	
Snipping Tool	既定のプログラム	
✓ XPS ビューアー	ヘルプとサポート	
(64 ビット) Internet Explorer (64 ビット)		
▶ すべてのプログラム		
プログラムとファイルの検索 👂	シャットダウン 🕨	
🔊 🧭 🚞 🔕		

図 補足.2-1 コントロールパネル呼び出し画面

(2)「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」を開きます。



図 補足.2-2 コントロールパネル画面

(3)「ユーザーアカウント」を開きます。



図 補足.2-3 ユーザーアカウントと家族のための安全設定画面

(4)「ユーザーアカウント制御設定の変更」を開きます。

	 ユーザー アカウント ・ ユーザー アカウント ・ コントロール パネルの検索 	
コントロール パネル ホーム 資格情報の管理 パスワード リセット ディスク の作成 オンライン ID をリンク	ユーザー アカウントの変更 個人用パスワードの変更 個人用パスワードの削除 USER 画像の変更 パスワード保護	
ファイル暗号化証明書の管理 ユーザー プロファイルの詳細	 ・アカウント名の変更 ・クラントの種類の変更 ・ユーザーアカウント制御設定の変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
フロバティの構成 環境変数の変更 関連項目	 ・ 別のアカウントの管理 ・ ・ ユーザー アカウント制御設定の変更 	
🛞 保護者による制限		

図 補足.2-4 ユーザーアカウント画面

(5)「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されるので、「続行」ボタンをクリックします。

ユーザーアカウント制御の設定画面が表示されるので、ゲージを「通知しない」まで スライドさせ、「OK」ボタンをクリックします

😌 ユーザー アカウント	制御の設定		
コンピュー ユーザー フ の防止に役 ユーザー フ	-ターに対する アカウント制修 泣ちます。 アカウント制修	変更の通知を受け取るタイミングの選択 即を使用すると、問題を起こす可能性があるプログラムからのコンピューターの変更 <u>明設定の詳細を表示</u>	
常に通知	知する		
- [-	以下の場合でも通知しない:	
-	-	 プログラムがソフトウェアをインストールしようと する場合、またはコンピューターに変更を加えよう とする場合 	E
_	_	● ユーザーが Windows 設定を変更する場合	
	-	 	
通知し:			
		「通知しない」までスライドさせます	
			Ŧ

図 補足.2-5 ユーザーアカウント制御の設定画面

(6)「OK」ボタンをクリックすると、

「ユーザーアカウント制御を無効にするには、コンピュータを再起動する必要があります」 とメッセージウィンドウが表示されますので、メッセージをクリックしてパソコンを再起動 してください。 3. Windows 8.1 の場合

(1) スタートメニューを右クリックし、「コントロールパネル」を開きます。

プログラムと機能(F)	
モビリティ センター(B)	
電源オプション(0)	
イベント ビューアー(V)	
システム(Y)	
デバイス マネージャー(M)	
ネットワーク接続(W)	
ディスクの管理(K)	
コンピューターの管理(G)	
⊐マンド プロンプト(C)	コントロールパネル
コマンド プロンプト (管理者)(A)	
タスク マネージャー(T)	
コントロール パネル(P)	
エクスプローラー(E)	
検索(S)	
ファイル名を指定して実行(R)	
シャットダウンまたはサインアウト(U)) •
デスクトップ(D)	

図 補足.3-1 コントロールパネル呼び出し画面

(2)「ユーザーアカウントとファミリーセーフティ」を開きます。

-ロール パネル		- 🗆	×	
	► C	ール パネルの検索	Q	
	表示方法:	לבד עבד		
ユーザー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	アカウントとファミリー セ・ の理想の変更 セーフティの設定	-777		
デスクトッ テーマの変更 デスクトップの 画面の解練	プのカスタマイズ 更 D背景の変更 限度の調整	ーフティ	・アカウ	ントファミリーセ



(3)「ユーザーアカウント」を開きます。



(4)「ユーザーアカウント制御設定の変更」を開きます。



図 補足.3-4 ユーザーアカウント画面

(5)「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されるので、「続行」ボタンをクリックします。

ユーザーアカウント制御の設定画面が表示されるので、ゲージを「通知しない」まで スライドさせ、「OK」ボタンをクリックします

۲	ユーザー アカウント制御の設定 - ロ ×		
コンピューターに対する ユーザー アカウント制御を使 ユーザー アカウント制御設式 常に通知する	る変更の通知を受け取るタイミングの選択 :用すると、問題を起こす可能性があるプログラムからのコンピューターの変更の防止に役立ちます。 この詳細を表示		
 	 ソ下の場合でも通知しない: アプリがソフトウェアをインストールしようとする場合、またはコン ビューターに変更を加えようとする場合 ユーザーが Windows 設定を変更する場合 		
ー ー 通知しない 「	 推奨されません。 通知しない」までスライドさせます ③OK キャンセル 		

図 補足.3-5 ユーザーアカウント制御の設定画面

(6)「OK」ボタンをクリックすると、

「ユーザーアカウント制御を無効にするには、コンピュータを再起動する必要があります」 とメッセージウィンドウが表示されますので、メッセージをクリックしてパソコンを再起動 してください。

第6章 Java の設定

6.1 Java 環境の設定

インストールした Java が自動で更新されないよう設定を行います。

6.1.1 Windows Vista、Windows 7(32bit 版)、Windows 8.1(32bit 版)の場合

- (1) スタートメニューより「コントロールパネル」を開きます。
- Windows Vista/Windows7の場合



図6.1.1-1 コントロールパネル画面呼び出し

(2)以下の画面が表示されます。「Java」をダブルクリックします。



図6.1.1-2 コントロールパネル

(3)以下の画面が表示されます。「更新」タブをクリックします。

🗿 Javaコントロール・パネル
一般 更新 Java セキュリティ 詳細
バージョン情報
Javaコントロール・パネルについているというという。
ネットワーク設定 「更新」をクリック 報(日)…
ネットワーク設定は接続戦 トワーク設定を使用します。これのの原因になるまで、こののは、エルステーツーのみです。
インターネットー・時ファイル
Javaアプリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別な フォルダ内に格納されます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーの みです。
ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照
OK 取消 適用(A)

図6.1.1-3 Java コントロールパネル①

(4)以下の画面が表示されます。「更新を自動的にチェック」を外します。 (既にチェックが外れている場合、以降の操作は不要です。「取消」をクリックして画面を 閉じてください。ただし、JRE7UPDATE45をご利用の方は(7)の手順を行ってく ださい。)

🛃 Javaコントロール・パネル
一般 更新 Java セキュリティ 詳細
Java Updateメカニズムを使用すれば、最新版のJavaプラットフォームを 確実に入手することができます。以下のオプションを設定することで、最新 版の取得方法や適用方法に関する処理を制御することができます。
通知: ダウンロード前 🚽
✓ 更新を自動的にチェック 拡張(D)
Java Upp は少なくとも週に1回、日曜日の21:00に最新版を確認します。更新かっされる場合はシステム・タスクバーの通知領域にアイコンが表示されるの、ソルをアイコン上に移動して状況を確認します。最新版がダウンロート、「ご通知されます。
通常、更新はリリースされ、 しい内に通知されます。ただし、更新 がクリティカルとみな れます。 チェックを外します
今すぐ更新(<u>U</u>)
OK 取消 適用(A)

図6.1.1-4 Java コントロールパネル2

(5)以下の画面が表示されますので、「チェックしない」を選択します。



図6.1.1-5 Java コントロールパネル③

(6)以下の画面が表示されます。チェックが外れたことを確認します。

🏂 Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
Java Updateメカニズムを想 確実に入手することができま 版の取得方法や適用方法	用すれば、最新版のJavaプラットフォームを す。以下のオプションを設定することで、最新 に関する処理を制御することができます。
通知:	ダウンロード前 🚽
	5 拡張(D)
最新版 電認するためには 能な場合 上に移動して ・ 確認し	「今すぐ更新」ボタンをクリックします。利用可 こアイコンが表示されるので、カーソルをアイコン ます。
し チェッ	クが外れました
	今すぐ更新(<u>U</u>)
	OK 取消 適用(A)

図6.1.1-6 Java コントロールパネル④

(7) JRE のバージョンが、7 UPDATE45の場合はセキュリティレベルを変更します。 Java コントロールパネル画面の「セキュリティ」タブをクリックして、セキュリティレベルを

Гфі	に変更します
· ΨJ	に夕丈しみり。

▲ Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
☑ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)	
セキュリティ・レベル	
- 高(最小限の推奨)	
١٢٣٦	こ変更します
毎低やキュリティ設定 - セキュリティフロ・グレが表示された後に 3	た"ての. Javaアプリ
ケーションを実行できます。	
セキュリティ・プロンプトの復元(<u>B</u>) 証明	月書の管理(M)
OK 取消	適用(<u>A</u>)

図6.1.1-6 Java コントロールパネル⑤

(8)「OK」をクリックします。

▲ Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
▼ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)	
セキュリティ・レベル	
- 高(最小限の推奨)	
<u>ь</u> - ф	
最低セキュリティ設定 - セキュリティ・プロンプトが表示された後に、すべてのJavaアプリ ケーションを実行できます。	
してキュリティ・フロフノドの度元(R) 証明書の管理(M)…	
OK 取消 適用(<u>A</u>)]

図6.1.1-6 Java コントロールパネル⑥

- 6. 1. 2 Windows 7 (64bit 版)、Windows 8.1 (64bit 版) の場合
 - Windows7の場合は、「スタート」ボタンをクリックし、「コンピューター」を開きます。
 Windows 8.1の場合は、「スタート」ボタンを右クリックし、「エクスプローラー」を開きます。



図6.2.2-1 コンピューター呼び出し画面

(2)「ローカルディスク(C:)」を開きます。



図6.2.2-2 コンピューター画面

(3)「Program Files (x86)」フォルダを開きます。



図6.2.2-3 「Program Files (x86)」フォルダ画面

(4)「Java」フォルダを開きます。



図6.2.2-4 「Java」フォルダ画面

(5)「jre1.8.0_25」フォルダを開きます。 ※JRE7をダウンロードした場合は「jre7」フォルダを開きます。



図6.2.2-5 「jre1.8.0_25」フォルダ画面

(6)「bin」フォルダを開きます。



図6.2.2-6 「bin」フォルダ画面

(7)「javacpl」または「javacpl.exe」を左クリックしてから、右クリックをして 「管理者として実行(A)」をクリックします。

整理・ 論論く 着き込む 新し	いフォルター		
 ★ お気に入り ※ ダウンロード ※ ダウンロード ※ デスクトップ ※ 最近表示した場所 ※ 5イブラリ ※ ドキュメント ※ ピクチャ ※ ピクチャ ※ ピクチャ ※ ビクチャ ※ ビクチャ ※ ビクチャ 	Cill client plugin2 ant.dl attridge.dl crm.dl deptoy.dl dep	左クリック⇒右クリック⇒ して実行(A)をクリック	管理者と m Files (x86) , Java ,
👛 os (C:)	S hprof.dl S instrument.dl	所しいフォル	
♥ ネットワーク	(c) Non Loll (c) [2pice.dl (c) [2pice.ll.dl (c) [ass_rt.dl (c) [ass_rt.dl (c) [ava.dl	名ī ④ Java	更新日時 2011/10/28 11:
	java S java_crw_demo.dll	🚽 java_crw_demo.dll	2011/10/28 11:
	<u>di javacpi</u> 63 java mi	🔬 javacpl	2011/10/28 11

図6.2.2-7 javacpl または javacpl.exe 画面

(8)「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示されますので、
 「はい」を選択すると、「Java コントロールパネル」が表示されます。
 「更新」をクリックします。

Java⊐ントロール・パネル
一般更新Java セキュリティ 詳細
バージョン情報
Javaコントロール・パネルについているとします。
ネットワーク設定 「更新」をクリック 報(B)
ネットワーク設定は接続 トワーク設定を使用します。これのの取座なるまできるののはエルステップのみです。
ネッドワーク設定(M)
インターネットー・時ファイル
Javaアプリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別な フォルダ内に格納されます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーの みです。
ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照
OK 取消 適用(A)

図6.2.2-8 Java コントロールパネル①

- (9)以下の画面が表示されます。「更新を自動的にチェック」を外します。
 - (既にチェックが外れている場合、以降の操作は不要です。「取消」をクリックして画面を 閉じてください。ただし、JRE7UPDATE45をご利用の方は(12)の手順を行って ください。)

🎒 Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
Java Updateメカニズムを使用すれ 確実に入手することができます。以版の取得方法や適用方法に関す	いば、最新版のJavaプラットフォームを 下のオブションを設定することで、最新 る処理を制御することができます。
通知: ダウ:	ンロード前 🚽
👽 更新を自動的にチェック	
Java Lateは少なくとも週に1回 す。更新 性違される場合はシン が表示される サーソルをアイコ 新版がダウンロ ろ前に通知	1、日曜日の21:00に最新版を確認しま ステム・タスクバーの通知領域にアイコン い上に移動して状況を確認します。最 されます。
通常、更新はリリース がりリティカルとみちまわ れます。 チェックを	月以内に通知されます。ただし、更新 コンカティンに回日にした(一通知さ た外します
	OK 取消 適用(A)

図6.2.2-9 Java コントロールパネル2

(10)以下の画面が表示されますので、「チェックしない」を選択します。



図6.2.2-10 Java コントロールパネル③

(11)以下の画面が表示されます。チェックが外れたことを確認します。

👔 Javaコントロール・パネル
一般 更新 Java セキュリティ 詳細
Java Updateメカニズムを使用すれば、最新版のJavaブラットフォームを 確実に入手することができます。以下のオブションを設定することで、最新 版の取得方法や適用方法に関する処理を制御することができます。
通知: ダウンロード前 🗸
正新 在自動的にチェック 拡張(D)
最新版、電認するためには「今すぐ更新」ボタンをクリックします。利用可 能な場合、マテム・トレイにアイコンが表示されるので、カーソルをアイコン 上に移動して、「確認します。
チェックが外れました
OK 取消 適用(A)

図6.2.2-11 Java コントロールパネル④

(12) JRE のバージョンが、7 UPDATE45の場合はセキュリティレベルを変更します。 Java コントロールパネル画面の「セキュリティ」タブをクリックして、セキュリティ レベルを「中」に変更します。

🛃 Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
✓ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)	
セキュリティ・レベル	
一高(最小限の推奨)	
「中」に変更します	
(D , #)	
最低セキュリティ設定 - セキュリティ・フロンフトが表示された後に、すべてのJavaアプリ ケーションを実行できます。	
セキュリティ・プロンプトの復元(<u>R</u>) 証明書の管理(<u>M</u>)	
OK 取消 適用(A)	

図6.2.2-12 Java コントロールパネル⑤

(13)「OK」をクリックします。

▲ Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
✓ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)	
セキュリティ・レベル	
- 高(最小限の推奨)	
Ф-Ф	
最低セキュリティ設定 - セキュリティ・プロンプトが表示された後に、すべてのJavaアプリ ケーションを実行できます。	
セキュリティ・プロンプトの復元(R) 証明書の管理(M)	
OK 取消 適用(<u>A</u>)	

図6.2.2-13 Java コントロールパネル⑥

6.2 例外サイト・リストの設定



図6.2-1 Java コントロールパネル①

OK 取消 適用(A)

(2)「サイト・リストの編集」をクリックします。

▲ Javaコントロール・パネル
一般 更新 Java セキュリティ 詳細
例外サイト・リストにないアプリケーションのセキュリティ・レベル
○ 非常に高(V) - 証明書が失効していないことを確認できる場合にかぎり、信頼できる認証局の 証明書により識別される Javaアプリケーションのみ実行を許可されます。
高(H) - 証明書の失効ステータスを確認できない場合でも、信頼できる認証局の証明書により識別されるJavaアプリケーションは実行を許可されます。
「サイト・リストの編集」を クリック
例外サイト・リスト 次に示すサイトがら起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロン す。
「サイト・リストの編集」をフリックします アイテムをこのリストにご追加します。 サイト・リストの編集(S)
セキュリティ・プロンプトの復元(R) 証明書の管理(M)

図6.2-2 Java コントロールパネル②

(3)「追加」ボタンをクリックします。

劉 例外サイト・リスト マ
次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。
「追加」をクリックすると、アイテムがこのリストに追加されます。
「追加」をクリック
道加(A) 育順家(R) 「ILEプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リスクと見なされます。可能な場合はHTTPSサイトも使用することをお薦めします。
OK 取消

図6.2-3 Java コントロールパネル③

- (4)「場所」欄が表示されます。
 - Java のフォルダ名およびご利用頂く電子入札システムの URL を登録します。

≦ 例外サイ	ト・リスト					— X
次に示すサ	イトから起動されたアプリ	リケーションは該当する も	2キュリティ・プロンプトグ	D後に実行を許可され	します。	
場所		/ Fo/ bitte / /				
nttps	://www.example.com/	/dir/ or https://www.	example.com/app.ht	tml		
0 FT F-	****		リコカレ目もされます			削除(<u>R</u>)
" FILE	/սույտցեՄՈՒ/լ	በርበለውና ሮሞቧሃፓቶግ	/////////////////////////////////////	可能は初始によりした	OUT REIZHII DOUCE	n (1511)UK 90
					ОК	取消

図6.2-4 Java コントロールパネル④

(5) 第5章でダウンロードした「JavaPolicy 設定ツール」フォルダを開きます。 フォルダ内の「例外サイト設定 URL.txt」を開きます。





(6)「例外サイト設定URL.txt」内のURLを1行づつコピーし「例外サイト・リスト」の 「場所」に貼り付け、「追加」ボタンをクリックします。

同じ操作で2つのURLを追加してください。

例外サイト設定URL.txt - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(Y) ヘルプ(H)	
file:/C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/ https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CALS/	<u>^</u>

図6.2-6 例外サイト設定 URL

場所				
file:///C:/Progra	n%20Files/Java/jre1.8.0_25/lib/applet.	1		
			〕追加(A)	削除(R)

図6.2-7 Java コントロールパネル⑤

※以下のようなセキュリティ警告画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

セキュリティ警告 - FILEロケーション
例外サイト・リストにFILEロケーションを含めることは、セキュリティ ・リスクと見なされます
場所: file:// FILEプロトコルを使用するロケーションにはセキュリティ・リスクがあるため、お使いのコンピュータの個人情報が危険にさらされるおそれがあります。例外サイト・リス します。 このロケーションを受け入れる場合は「続行」をクリックし、 します。 (続行)取消

図6.2-8 Java セキュリティ警告

(7) テキストファイル内の2つの URL が表示されていることを確認します。 「OK」ボタンをクリックします。

働外サイト・リスト	×
次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。	
https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CALS/	
	追加(<u>A)</u> 削除(<u>R)</u> 使用することをお薦めします。
	The second secon

(10) Java コントロールパネル内の「例外サイト・リスト」に入力した URL が表示されている ことを確認してください。

確認後、「OK」ボタンをクリックします。

▲ Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
✓ ブラウザで・Javaコンテンツを有効にする(E)	
例外サイト・リストにないアプリケーションのセキュリティ・レベル	
○ 非常に高(V) - 証明書が失効していないことを確認できる場合にかぎり、信頼	できる認証局の
証明書により識別されるJavaアプリケーションのみ実行を許可されます。	C C 08.081/-505
 高(日) - 証明書の生効ステークスを確認できない場合でも、信頼できる認証長 	ᡢ᠍ᡝᠯᠯᡛ᠋᠍⊉ᡕ╴ᢣ
り識別だれるJavaアプリケーションは実行を許可されます。	NAL NE(CO
例外サイト・リスト ングローマナサイトやきまたには、「ション」の「「「「「「「」」」、「「「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	&(-===>ニナ=た=Tさわま
スに示すり目的の JCE 100 (アクリケーション(ホストラウロ/キュリテオ・フロノアドの): す。 ジョン(ハーク): (アクリアドレーク): (アクリケーション(ホート・コーク): (アイ・フロノアドの):	起こ夫1丁を計りてれる
https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CALS/	・リストの編集(S)
セキュリティ・プロンプトの復元(<u>R</u>) 副	明書の管理(<u>M</u>)…
ОК ДХ	皆 (通用(<u>A</u>)
	R/V(9)

以上で Java の設定は完了です。

補足2 Internet Explorer の設定

電子入札システムを使用するには、Internet Explorer の設定も必要となります。 設定を行っていない場合は、下記手順を参照の上、設定をしてください。

・信頼済みサイトとポップアップブロックの設定

(1)「Internet Explorer」を起動します。

(2) ツールメニューから「インターネットオプション」①をクリックします。



図 補足.1 Internet Explorer 画面

(3) 画面上部の「セキュリティ」タブ①をクリックします。 「信頼済みサイト」②をクリックし選択後、「サイト」ボタン③をクリックします。



図 補足.2 インターネットオプション画面

(4)「この Web サイトをゾーンに追加する」の入力欄①に以下の URL を入力し「追加」ボタン②を クリックします。

https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/

「Webサイト」欄」③に追加したURLが表示されたことを確認し、「閉じる」ボタン④をクリックします。

信頼済みサイト
このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトす べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。
この Web サイトをゾーン(に追加する(D):
Web サイト(<u>W</u>): ① ② 削除(<u>R</u>) 削除(<u>R</u>)
③ ▼このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする(S)
日日のションショーにはシュービーション (mpoy e21xe) (同じる(C)
<u></u>

(5)「インターネットオプション」画面の「レベルのカスタマイズ」ボタン①をクリックします。

インターネット オブション
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。
インターネット ローカルイント 信頼済みサイト 制限付きサイト
信頼済みサイト #イト(S)
このゾーンには、コンピュータやファイルに損害を与え ないと信頼している Web サイトが含まれています。
このゾーンには Web サイトがあります。
このゾーンのセキュリティのレベル(L)
<u> </u>
カスタム設定 - 設定を変更するには、「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックします
- 推奨設定を使用するには、「既定のレベル」「ボタンをクリックします
■ 保護モードを有効にする (Internet Evplorer の再閉が必要)(P)
すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R)
OK キャンセル 適用(A)
図 補足.4 インターネットオプション画面

(6)「ポップアップブロックの使用」①を「無効にする」に変更します。「OK」ボタン②をクリックします。

セキュリティ設定 - 信頼されたソーン	
- 設定	
🦉 フィッシング詐欺検出機能を使う	
◎ 有効にする	
🦉 ページの自動読み込み	
◎ 有効にする	
🕖 ボッブアップ ブロックの使用	
◎ 無効にする	
どしたない Web コンテンツ ゾーンの Web サイトがこのゾーン(に移動で	
● タイアロクを表示する	
*Internet Explorer の再開後に有効になります。	
カスタム設定のリセット	
リセット先(B): 中(既定) ▼ リセット(E)	
2 OK キャンセル	
図 補足.5 セキュリティ設定画面	

・ 互換表示の設定

(1)「Internet Explorer」を起動します。

(2) ツールメニューから「インターネットオプション」①をクリックします。



図 補足.6 Internet Explorer 画面

(3)「追加する Web サイト」欄①に以下を入力し、「追加」ボタン②をクリックします。
 fwd.ne.jp

互換表示に追加したWebサイト」欄③に追加した項目が表示されていることを確認し、「閉じる」ボタン④をクリックします。

互换表示設定	×
互換表示設定の変更	
追加する Web サイト(D):	2
	追加(A)
互換表示に追加した Web サイト(W):	
fwd.ne.jp	削除(R)
	3
]
✓ イントラネット サイトを互換表示で表示する(I)	
✓ Microsoft 互換性リストの使用(U)	
Internet Explorer のフライバシーに関する声明を読んで詳新	出を確認する
	閉じる(C)
	画面

以上で Internet Explorer の設定は完了です。